

薬学職 平成29年8月22日実施  
集団討論の課題

大阪府における平成28年の覚醒剤事犯、大麻事犯、麻薬及び向精神薬事犯による検挙人員は1,668人で、前年より144人増加しています。特に、大麻事犯においては20歳代までの割合が全体の約64%となっており、若年層への広がりが問題となっています。

そこで、若年層に大麻の乱用が広がっている背景と、若年層による大麻の乱用を未然に防止するために、大阪府や警察が取るべき対策について、グループとしての意見をまとめてください。